

企業の設備投資の状況と県内在留外国人数の推移

1 企業の動き

公表日	事業者 本社所在地	設置 場所	投資見込額 (億円)	時期	内容
1/14	新日本 ステンレス 工業(株) 熊本市	合志市	8	2025年 8月	半導体製造装置部品メーカーの新日本ステンレス工業は、合志市の工場を増設するため、市と立地協定を結んだ。2月着工、8月操業開始を予定している。半導体製品の需要の高まりに加え、TSMCの菊陽町進出もあり、増設を決めた。合志市福原のセミコンテクノパークにある同事業所の自社所有地に、鉄骨2階建て、延べ床面積2112平方メートルの3号棟を新設。溶接ロボットを増やし、納期短縮を目指す。投資額は8億円。10人の新規雇用を見込む。
1/17	DOWAエコ システム(株) 東京都	宇城市	追加投資 3億円 総額 53億円	-	環境・リサイクル事業を手がけるDOWAエコシステムは7月に稼働させる宇城市の工場の一角に、パソコンやスマートフォンの基板などから貴金属を取り出すリサイクル施設を追加整備するため、市と立地協定を結んだ。 同社は約10万5千㎡の敷地に非鉄金属やプラスチックを扱う平屋のリサイクル工場の建設を進めてきた。床面積約7千㎡のうち、空きスペースの約500㎡を活用し、貴金属リサイクルの施設も整備することにした。 TSMCの菊陽町進出を受け、九州で半導体産業の集積が加速していることから、約3億円の追加投資を決めた。総投資額は約53億円。
1/24	御頂グループ 熊本県 菊陽町	熊本県 菊陽町	-	2025年 3月	台湾で結婚式場やレストランを展開する御頂グループが、台湾料理の飲食店や物販店を1カ所に集約する事業を開始する。結婚式場を運営する出雲総業（八代市）と業務提携し、3月にも開業する。御頂グループは、TSMCの菊陽町進出を受け、九州で半導体産業の集積が加速していることによる進出先として熊本を選び、具体化を進めてきた。
2/1	（株）テラプローブ 熊本県 芦北町	熊本県 芦北町	-	2025年 1月	半導体製品検査のテラプローブは、芦北町にある九州事業所の設備増強に向け、町と立地協定を結んだ。半導体製品の検査向け半導体などの需要が高まっていることを踏まえ、28年1月までに検査機器を追加導入する。投資額は約50億円。計画では生産棟のクレーン吊り上げ作業を効率化し、検査棟の床面積約2800㎡内に、半導体の基板や完成品の性能をテストする機器を設置する。検査棟の床面積は約1000㎡。検査棟の床面積は約1000㎡。

以降は会員専用ページにて公開しております。
 ご覧頂くには、入会手続き後、会員専用ページより
 アクセスをお願いします。

[ご入会はこちらから](#)

(入力は数分で終わります)

[会員の方ははこちらから](#)